さいき

市議会だより

No.51
平成29年
11月

9月定例会は8月29日から9月20日までの23日間の会期で開催されました。

トピックス

①台風18号 各地に被害！！(P2-3)
②どうする保育所？ 駐車場？(P6)
③議会報告会開催のお知らせ(P14)

写真：うめ秋大祭

★市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。
★市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。 佐伯市議会 検索

大きな被害　浸水被害 900件超

９月９日に発生した台風18号は、17日には佐伯市に最接近、記録的短時間大雨情報が３回発表され、河川の氾濫や土砂崩れなど被害が相次ぎました。
被災された皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

NHK映像より

9月16日

▶ **11時10分**
佐伯市災害対策連絡室設置

▶ **14時**
避難準備情報
（高齢者等避難開始） 発令。

▶ 避難所最大61か所開設。21施設に261世帯415人が避難。

9月17日

▶ **９時**
佐伯・鶴見・米水津に**記録的短時間大雨情報**（時間雨量約110㎜）

▶ **９時６分**
佐伯　時間雨量84.5㎜
（観測史上１位）

▶ **10時30分**　佐伯市災害対策本部設置

▶ **11時30分**　台風18号鹿児島県に上陸

氾濫する井崎川（弥生・大坂本）

水没した国道10号線（弥生・石原、折原付近）

▶ **13時40分**　市内全域に**避難勧告**発令

▶ **14時17分**　宇目　時間雨量89.5㎜
（観測史上１位）

▶ **14時30分**　上浦に**記録的短時間大雨情報**
（時間雨量約110㎜）

▶ **15時**　佐伯に**記録的短時間大雨情報**
（２回目）（時間雨量約110㎜）

被災者の声

- 「早く逃げろ」という声が聞こえ、高台にあるお寺に駆け込んだ。
- 橋が見えないので濁流のせいかと思っていたら、既に流されていた。
- 足が悪く避難できずにいたら、畳が浮いてきた。

台風18号各地に

▶**15時30分**　番匠川番匠橋　氾濫危険水位超える。最大で7.06mまで上昇。

▶**15時30分**　井崎川氾濫

▶**15時32分**　市内全域に**避難指示**

▶**災害救助法、被災者生活再建支援法の適用**を受ける

水没した弥生文化会館（右奥）方面（国道10号線より撮影）

護岸が崩落した元田橋周辺（元田公民館）

9月18日

▶**9時**　災害ボランティアセンター設置（佐伯市社会福祉協議会）

▶**10時**　台風18号北海道再上陸。観測史上初めて九州、四国、本州、北海道の４島全てに上陸した台風になる。

9月19日

▶ボランティア活動開始

▶家屋の消毒作業開始（床下浸水以上）

▶20日　罹災証明書受付開始

▶孤立地域　18日午前中が最大。上浦、本匠など21地区678世帯1,344人に。（19日10時30分孤立状態全て解消）

積まれた災害ごみ（上浦・津井浦）

被災者の声

- 家中ぐちゃぐちゃでどこから手をつけていいかわからない。
- ボランティアが来てくれて大変助かった。
- 台風が昼間だったからよかった。夜だったら大変なことになっていた。

被害状況

（10月18日現在）

●人的被害なし
●建物被害（住家・非住家）
　全壊3件　半壊７件　一部損壊３件
　床上浸水383棟　床下浸水594棟
●道路被害　国・県道35か所
　　市道66件
●河川被害97件　●土砂災害６か所

消毒作業の様子

ボランティアセンター
（佐伯市災害ボランティアセンターフェイスブックより）

9月定例会の概要

9月定例会は、8月29日に開会し予算議案12件、予算外議案13件、諮問3件、専決処分の報告1件、請願1件、意見書案1件が上程されました。

9月5日から議案質疑、一般質問が行われ、8日まで17人が質問を行いました。

12日には、建設経済、教育民生の両常任委員会を、翌13日には総務常任委員会を開催し、付託議案の審査及び、所管事務調査を行いました。

14日には予算特別委員会（飛高彌一郎委員長）を開催、各会計補正予算案を審査しました。

15日には、公立保育所移転に係る全員協議会を開催し、20日に閉会しました。

こんなことを審査しました

米水津、木立の児童クラブが移転します!!

平成30年1月に移転する米水津小学校の敷地内に「よのうづ子どもクラブ」が、木立小学校の敷地内に「木立ゆめっ子クラブ」が、それぞれ移転するため、条例の改正を行いました。

藤河内渓谷の周辺の施設を改修!!

木浦辺地の総合整備計画の変更

木浦辺地を含む祖母・傾・大崩がユネスコエコパークに登録されたことにより、その周辺施設（キャンプ場・遊歩道・トイレ等）を改修するための新たな事業計画を追加しました。

老朽化したバンガロー

遊歩道

補正予算

約6億円を追加

平成29年度佐伯市一般会計予算は、歳入歳出予算に、それぞれ6億163万7000円を追加計上しています。

既決予算と合わせた一般会計予算総額は、469億9857万7000円となります。

その主なものは以下のとおりです。

●祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業

463万1000円

ユネスコエコパークの登録決定を受け、ガイド養成講座やPR活動に要する経費

●移住者居住支援事業

1490万4000円

住宅建設及び住宅購入の費用を助成することにより、本市への移住・定住を推進する費用

●佐伯市台湾プロモーション事業

211万9000円

大分県との交流が深まる台湾をターゲットにインバウンド推進、農林水産物等販路拡大、ものづくり企業ビジネス機会創出の3キャンペーンと台中市との交流を目的に、台湾において本市のプロモーションを行う経費

●福祉避難所用備蓄物資等整備事業

652万5000円

大規模災害に備え福祉避難所の協定事業所に対し、受け入れ人数に応じて備蓄物資を佐伯市が購入し、貸し付ける費用

●創業支援事業

795万6000円

創業支援事業者として認定した創業者に対する助成（申請者件数の増加が見込まれるため増額）

●国民文化祭開催事業

500万円

平成30年度に行われる国民文化祭のプレイベント及び本大会準備に要する経費に対する補助金

プレイベントの様子

常任委員会審査報告

総務常任委員会

付託された予算外議案5件、請願1件について審査し、すべて可決すべきものと決しました。

請負契約の締結

総合運動公園防災備蓄倉庫を2棟建設

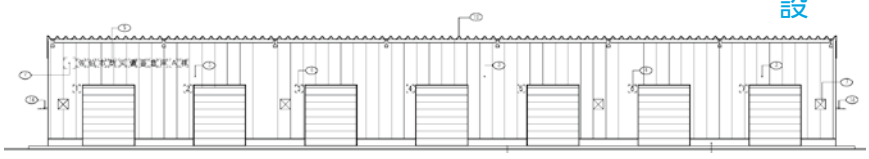
上城地区防災・避難広場（総合運動公園）に公的備蓄物資を保管する大型備蓄倉庫を鉄骨造りで2棟建設するものです。

契約者　（株）ヤマト冨永工務店

落札金額　1億895万円

質疑　ヘリコプターの発着スペースは確保できているのか。

答弁　給食センター用地の横に臨時ヘリポートを予定している。



防災備蓄倉庫 正面図

高規格救急自動車を購入

佐伯市消防本部に配備している高規格救急自動車が、経年劣化したために新たに購入します。

契約者　大分トヨタ自動車（株）佐伯店

契約金額　3423万6千円

建設経済常任委員会

付託された予算外議案3件、専決処分の報告1件、計4件について審査し、すべて可決すべきものと決しました。

大手前情報発信館を建設!!

大手前情報発信館条例を策定

大手前開発事業用地内に、木造2階建て、延べ面積228.68㎡の建物を建設します。1階部分は、情報発信する部屋と待合・休憩・交流スペース・トイレ・大分バスのバス発券場を設置し、2階に事務所と倉庫を設置します。

条例では、設置の目的、情報発信館が行う事業、オープンスペースの利用時間や占用利用する際の許可及び使用料について定めています。

施設の管理は、指定管理者制度を予定しています。なお、供用開始は平成30年4月1日からです。

質疑　オープンスペースの利用は。

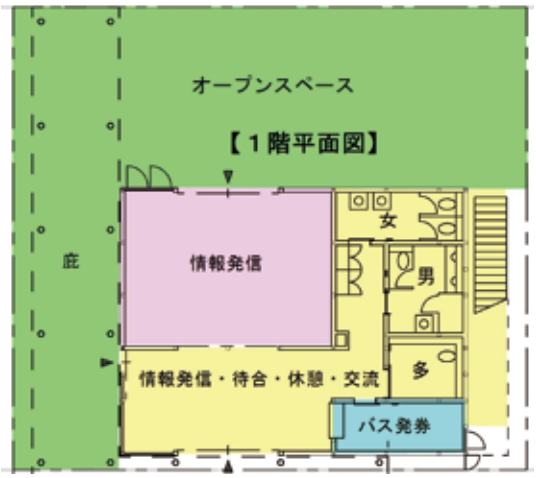
答弁　通常はベンチやテーブル等を置いているので、一般の市民が自由に休憩できるが、一定の時間、占用して物を売る申請があれば利用料の規定により販売が出来る。

質疑　オープンスペースの利用時間と受付時間は。

答弁　利用時間は午前7時から午後10時まで、受付は午前9時から午後5時まで。

質疑　情報発信の方法は。

答弁　テレビを使って映像で情報を流したり、インターネットやWi-Fi機能の設置を予定している。



大手前情報発信館平面図

どうする保育所？駐車場？

12月までに結論を!!

8月29日、市は、老朽化に伴う市立久部保育所の移転予定地を大手前市有地（西田病院跡地）から、旧佐伯豊南高校第2グラウンドに変更する方針を示しました。市有地は、「大手前まちづくり交流館（仮称）」の駐車場にし、大手前付近の駐車台数を180台から、400台にする方針であると説明がありました。

その後、9月15日の全員協議会で、諸問題についてより詳しい説明がされました。

その中で田中市長は、「今日がスタートであり、県との協議や、関係者等に丁寧な説明を図っていく。市民の皆さんの意見を聞きながら、12月定例会までに結論を出したい。」と述べました。

駐車場予定地と保育所予定地

請願・意見書

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択を求める請願

趣旨　2018年度の政府予算に当たっては、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立を目指すことが必要であり、意見書を国の関係機関に提出していただくよう請願する。

※総務常任委員会及び本会議での採択により意見書を提出することとなりました。

●「全国森林環境税」の創設に関する意見書

趣旨　平成29年度税制改正大綱において、「森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから「全国森林環境税」の早期導入を強く求めるものです。

〔議員の表決態度の公表〕 ※賛否が分かれた議案等について掲載しています。

件名		議決結果	賛成（○）反対（●）	彩輝会							志高会				南風会			自民党		公明党		無所属の会		無会派			
会派 議員氏名				冨松万平	清田哲也	塩月健治	濵野芳弘	清家好文	本田房代	大野達也	坪根大吉	森三千年	飛高彌一郎	福嶋勝彦	御手洗秀光	矢野幸正	上田徹	佐藤元	河野豊	浅利美知子	後藤勇人	井上清三	西條隆洋	髙司政文	菅さとみ	吉良栄三	三浦渉
意見書案第2号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	原案可決	21：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	議長
意見書案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決	21：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（三浦渉）は、通常の過半数議決には表決権がありません。　※無所属の会：佐伯を元気にする無所属の会

一般質問

一般質問９月５、６、７、８日

※一般質問の掲載について
　一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。
　なお、一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。

質問者	質問の要旨
御手洗 秀光	・災害対策について ・地域におけるスポーツ・文化活動について
西條　隆洋	・豪雨災害における防災・減災について ・河川の管理について
大野　達也	・歴史資源の活用について
飛髙 彌一郎	・田中市長の政治姿勢について ・土﨑教育長の教育論について ・あいうべ体操について ・中心市街地公立保育所建設事業について ・蒲江翔南学園について
菅　さとみ	・北朝鮮ミサイルに対する市の対応について ・いじめについて
佐藤　　元	・佐伯市廃棄物の処理及び清掃に関する条例･施行規則について ・エコセンター番匠について ・農林業の後継者育成について
矢野　幸正	・里山の保全について ・北川ダム湖の有効活用について ・広報媒体拡大による広告収入の増について
河野　　豊	・女島埠頭の利活用について ・新佐伯市史の編さんについて
濵野　芳弘	・地域医療について ・市営住宅における高齢者や障がい者への対応について
本田　房代	・職員研修について ・嘉風関の応援について ・さいきの茶の間運営事業について
塩月　健治	・スクールバスについて ・河床掘削について
井上　清三	・介護保険制度について ・障害者差別解消法について
冨松　万平	・地域医療について
後藤　勇人	・自動体外除細動器（ＡＥＤ）について ・認知症高齢者の行方不明対策について
浅利 美知子	・切れ目のない子育て支援について ・健康増進の取組について ・休日保育について
清田　哲也	・佐伯豊南高等学校の跡地利用について ・市有ケーブルテレビ施設の維持管理について ・給食費の滞納について
髙司　政文	・基金（積立金）を活用した子育て支援について ・新公会計制度の導入について

災害対策について

御手洗　秀光

問　昨年の台風16号による蒲江地域の被災箇所の復旧状況はどうなっているのか。

答　昨年の台風16号による蒲江地区の被災状況及び復旧状況については、大分県が管理している河川の被害箇所が9か所あるが、すでに復旧済みとなっている。

市道については、路肩決壊が2か所、土砂崩れ、土砂の流出が13件あったが、すでに復旧済みである。

河川及び水路の崩壊等については、これまでに24件実施しているし、土砂流出に伴う土砂撤去は46件実施している。その他、地区からの要望箇所があり、必要性、緊急性を考慮しながら、今後も対応していきたいと考えている。

漁港関係では、竹野浦河内の漁港海岸施設（護岸：長さ59・7ｍ）の被災箇所を4月から復旧工事に着手し、12月下旬の完成をめざしている。

また、林地の復旧については、3件の崩壊対策事業を実施し、すでに完成している。

なお、被害の大きかった西野浦、竹野浦河内地区においては、今後の土砂災害防止のため、大分県が砂防ダム及び治山ダム事業を予定しており、現在準備中と聞いている。

豪雨災害における防災・減災について

西條　隆洋

問　福岡・大分豪雨災害から受けた教訓について問う。

答　市職員も被災地の現場から身をもって学ぶことも多く、日田市の災害復旧支援・応援要員として、今後も派遣を続け災害対応力の向上につなげていきたい。

加えて、本市では現在ある「佐伯市防災マップ」に替え、平成30年度から新たな「佐伯市洪水ハザードマップ」を作成し、全戸配布する予定である。

問　山林伐採後の危険性及び管理について問う。

答　山林伐採後の管理については、その所有者が管理を行うものであるが、市では、「森林の伐採に関するガイドライン」を定め、伐採が災害の起因とならないよう、伐採方法や作業路の開設林地残材の処理などについて、伐採届出時に伐採業者や森林所有者に逐次指導を行っている。

佐伯城の「続日本100名城」の選定を活用せよ!!

大野　達也

問　佐伯城と築城主の毛利高政公は、本市のランドマークであり、歴史の起点のひとつである。これについて、リーフレット作成の考えはないか問う。

答　歴史資料館にて、常設展示案内で紹介しており、作成の計画はない。

問　毛利高政公の印象は、文字のみでは弱い。養賢寺所蔵の坐像や、現存する金色の武具を反映させた普遍的なイメージ画を作成すべきと考えるが、市の見解を問う。

答　毛利高政公を紹介する際には、肖像画等の資料が見当たらないため、一般にも知られている坐像の写真を使用している。したがって改めてイメージ画は作成しない。

問　毛利家墓所も佐伯の財産と考えるが、公開における権利関係や見学のルールについて、整理されているか問う。

答　大切な文化財ではあるが、養賢寺が管理しており、公開や見学のルールについて、特段の定めはされていない。見学等は、その都度に許可を頂いている。

あいうべ体操について

飛髙　彌一郎

問　小中学校で取り組みを行う考えはないか。

答　「あいうべ体操」の取り組みにより、他県でインフルエンザ罹患者が大幅に減ったとの報告がなされている学校があることは承知している。また、「あいうべ体操」を考案した福岡市のみらいクリニックの今井一彰氏の著書には、花粉症や皮膚炎、リウマチや肝炎の治癒等、様々な効果が紹介されていることも承知している。しかしながら、幼児・児童生徒の保持増進の取組としては、6月議会でお答えした児童生徒のフッ化物洗口の取り組みを現在進めているところであり、当面、フッ化物洗口の取組定着を優先して取り組んでいきたい。

問　全市的に普及するための取り組みを行う考えはないか。

答　「あいうべ体操」は、インフルエンザの予防や花粉症などのアレルギー性疾患、また、口腔衛生等にも効果があると言われている。食生活改善推進協議会の学習会や高齢者栄養教室における健康教育として用いており、市民の健康づくりの一つの手法として活用していきたい。

北朝鮮ミサイルの対応と避難訓練の実施を!!

菅　さとみ

問　幸福実現党は8年前の立党以来、北朝鮮の核ミサイルの危機について訴えを続けてきた日本で唯一の政党である。8月26日、北海道を含む12道県で初めてJアラートが発令され、いろいろな混乱があった。Jアラートが鳴った場合、着弾した場合、行動マニュアルは整備されているのか、また、Jアラートの動作確認は行っているのか。

答　今年度作成を計画している「防災手帳」の中に、「弾道ミサイル落下時の行動」を掲載し、全戸配布にて周知を図る。

ホームページで弾道ミサイル落下の場合、取るべき行動をお知らせしている。Jアラートの受信確認はできている。

問　北朝鮮ミサイルを想定した避難訓練の計画と実施されるのか市長に問う。

答　ミサイルを想定した避難訓練は、今年度中に取り組む。グアム方面へ発射されれば大分県でもJアラートが鳴る可能性があるため、国・県や関係機関と連携し、早い時期に特に、市内小学校を対象に着実にやっていきたい。スイスでは各家庭に核シェルターを持っているが、せめてJアラートが鳴れば建物の陰に隠れる等、自分の身を守るのは大事である。

農林業の後継者育成について

佐藤　元

問　今後の後継者育成について問う。

答　農林業の後継者育成については、県や関係団体と連携を密にし、将来を見据えた担い手の育成・確保に取り組んでいる。まず農業については、本市が実施主体のファーマーズスクールを開講し、農業経営者としての座学や栽培技術の研修を実施するなど、就農に向けた取り組みを行っている。林業については、県の研修所への受講促進を図り、林業研究グループの活動や林業従事者の福利厚生への支援も行っている。

問　伐採と伐開後の植林の個人負担について問う。

答　森林の伐採と伐採後の植林に係る補助金については現在、間伐を除き、森林の伐採には、補助制度がないのが現状である。伐採後の再造林については、国庫補助事業により、県と市が上乗せ負担をする形で補助を行っている。この補助事業は、森林所有者個人での申請もできるが、国の補助制度では、30ヘクタール以上の団地化された森林の経営計画を立てた者が高い補助率の適用を受けることから、一般の森林保有者は、森林組合や林業事業体に計画や施業を委託し、補助金は、その団体を経由して森林所有者へ交付される仕組みとなっている。

北川ダム湖の有効活用について

矢野　幸正

問

ユネスコエコパークの登録決定後、以前より観光客が目立つようになり、効果の表れを感じている。「うめキャンプ村」や「道の駅うめ」の活性化を推進するためには北川ダム湖の有効活用は欠かせない。高校や大学のボート部のキャンプ誘致に必要な整備の調査研究について問う。

答

「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」が登録決定された。ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的とし、保護・保全だけでなく自然と人間社会の共生に重点が置かれている。登録後は、早速その効果が現れており、これを機に宇目地域の活性化を考えている。本市の新たな観光振興の方向性として、温暖な気候と自然、総合運動公園や大分県マリンカルチャーセンターなどの設備の整った環境を最大限に生かし、大きな経済効果が期待できる大学等のスポーツや、文化部の合宿誘致を積極的に進めていきたいと考えている。こうした観点から北川ダム湖の活用についても、中津市の耶馬溪ダムの水上スキーや竹田市の長湯ダムのウェイクボードでの活用や大会誘致の事例もあるので、調査研究を考えて行きたい。

女島埠頭の利活用について

河野　豊

問

貨物物流に関して、市長の構想を問う。

答

今後もバイオマス関連産業など、港湾利活用企業の誘致を進めるとともに、現在利用している企業の取扱量の拡大を図り、貨物物流を増大させていく。

問

クルーズ船誘致に関し市長の構想を問う。

答

女島埠頭の新たな活用策として積極的に取り組んでいく。国においては、観光立国に向けクルーズ船受入れの更なる拡充が打ち出されており、国、県、経済界、海事産業グループで組織する佐伯港総合開発促進協議会の中に、クルーズ船の誘致に特化した部会を組織し、官民あげて誘致に向け取り組んでいく。

問

荷揚場用地の広さに問題はないのか問う。

答

岸壁に隣接する55，508㎡には、主に輸出用木材が置かれており、今後、佐伯港の機能を活用し、新たな企業を誘致するには既存の野積場だけでは不十分であり、隣接する興人ライフサイエンス㈱の所有する用地などが必要と認識している。

問

景観の課題について見解を問う。

答

PKS置場が建設され、以前よりよくなっているが、環境整備をしっかりする必要があると考えている。

高齢者等にやさしい市営住宅を

濵野　芳弘

問

市営住宅に入居していて、高齢となり手すりが欲しい、また、よくつまずくので、バリアフリー化にならないかとの声を聞くが、市営住宅の手すりの設置やバリアフリー対策を問う。

答

本市は、80団地、1709戸の市営住宅を有しており、うち6団地、53戸を高齢者または障がい者対応住宅として、その対策を講じている。

一般仕様の入居者は、年々高齢化に伴い、段差解消や手すりの設置等の要望が多くなっている。しかし、入居者の負担が基本となっている。だが、高齢者や障がい者の皆さんが、安心安全に居住できる生活環境は必要であると考えている。バリアフリー化については、全面的な改修は困難であると思われるが、今後、関係部局と協議をすすめていく。

さいきの茶の間運営事業について

本田　房代

問　事業の現状を問う。

答　平成28年度の年間運営日数は、平均148日、1回の参加者は、平均11人だった。光熱水費、物品購入費など事業の運営に要する経費について、月平均の運営日数が10日以上は20万円、5日以上10日未満は10万円を限度に補助している。開設初年度は、物品購入費や集会施設の改修費として50万円を限度に補助している。今年度の事業申請団体は40団体である。

問　事務手続きの簡素化はできないか。

答　各団体の意見を参考に簡素化に努める。

問　若者との交流に本事業を活用できないか。

答　若者が来訪し、高齢者と交流を深めることもできる。又、運営団体との協議や今後策定する老人福祉計画及び介護保険事業計画において検討していきたい。

問　ふれあいサロンとの違いは何か。

答　ふれあいサロンは支援が必要な方を対象とし、自主的な活動ができる方は茶の間事業を利用するよう区分を進めている。

スクールバス運行時の対応は？

塩月　健治

問　スクールバス運行時の緊急避難訓練の実施は。

答　緊急避難訓練の重要性は十分理解しているので、2学期に訓練の実施に向けて、運行管理者、そして学校や保護者等との調整を図っている。

問　緊急事態が発生した場合の連絡手段は。

答　運転手が所有する携帯電話の使用を考えているが、災害発生時につながりにくくなることも想定されるので、無線や衛星携帯電話などの活用も考えられるが、通信環境の整備、また、費用面等の問題もあるので、どういった対応がもっとも効果的か、研究していきたい。

問　蒲江葛原地区の反転場は。

答　現在、大分県佐伯土木事務所へ反転場の工事施行承認を申請中であり、承認され次第、工事に着手する。

蒲江翔南学園のスクールバス

障害者差別解消法について

井上　清三

問　全ての国民が障がいの有無で分け隔てなく、人格と個性を尊重し共生社会の実現に向け、法律が制定され1年半。法の対象は障害者手帳の所持に限らず、社会モデルでの対応となっている。市の取り組みを問う。

答　対応要領を定め、差別解消支援地域協議会の機能を地域自立支援協議会に付加し、相談及び紛争防止等のため体制整備を行い、ネットワークの構築により、地域全体で差別解消を取り組んでいる。また、市民の関心と理解を深めるため、市報・市ホームページ・講演会等で啓発活動に取り組んでいる。

問　前市長は、市民等との直接会話で、意見・提案等を聞かれたことは有意義と判断している。障がいを持っている方は、なかなか機会が得られない。差別解消法設立を契機に、市長は新たな思いで、障がいを持つ人、家族、支援者等と意見交換「市長と語る会」等を持つ考えはないか。

答　障がい者の皆さん等と、会合の場を持ちながら、実態、悩みを聞くことも非常に大事である。ぜひ機会をつくってもらえば、積極的に出席して話を聞きたい。

喫緊の課題として、本気で地域医療に取り組むべきでは？

冨松　万平

問　本市の医療提供体制の現状、課題や方向性について、認識を問う。

答　佐伯市の医師数は県平均の中位になっており、看護師も地域偏在により不足している。また、脳血管疾患・心疾患の患者の中部医療圏への流出が見られ、救急医療の現状も厳しい状況であり、へき地医療体制の維持も課題である。さらに、人口は減少するものの高齢者の人口増加が見込まれ、医療需要は今後も増えると思われる。

問　医師確保については医師会と共に市長自ら行動すべきではないか。

答　先般、医師会の三役と会って、一緒に要望活動するという事を確認した。これから前向きに活動していく。

問　地域医療への組織体制強化については。

答　医療提供体制の構築は、安心・安全なまちづくりを推進するため、取り組みを強化する必要性を感じている。まず地域医療の現状課題を明確にし、佐伯市医師会・医療機関・関係各所と共に、直面する問題を解決する役割を市も積極的に担わなければならない。そのための人員配置については検討したいと考えている。

行方不明の認知症高齢者を救え！

後藤　勇人

問　徘徊などで行方不明になった認知高齢者を早期発見するために衛星利用測位システム（GPS）機器の購入補助や貸与を行う考えはないか。

答　徘徊する認知症の方に対して使われるGPSは、行方不明者の早期発見のためには有効な手段と考える。県下でも6市がGPS機器の貸与又は購入等の補助を行っており、本市でも今後導入について検討しているところである。GPSには、電波環境の影響を受けることや、いつも持ち歩くようにしてもらわなければならないなどの弱点もあるほか、各機器の機能や利用料金等について一長一短があり、個別性の高い認知高齢者への貸与や補助制度の在り方について研究している。

認知症高齢者の徘徊について最も大切なことは地域の力であると考える。市では、徘徊している方にいち早く気づき、連絡する、声をかけて安心させるなど認知症の方を見守る地域づくりを進めており、昨年度、西上浦地区をモデル地区として認知症サポーター養成講座やSOSネットワーク模擬訓練を行い、今年度は他の地区にも広げて行く取り組みを行っている。このように地域づくりを進めながら、今後のGPS機器の導入も検討を続けていきたいと考えている。

切れ目のない子育て支援のために

浅利　美知子

問　産後ケア事業とは、出産後、家族などから十分な家事や育児の支援が受けられない家庭に対して行う産後の生活支援である。本市では、助産師による母親や乳児のケアや育児の相談や指導などを民間施設で行っている。この利用料金に対して助成できないか。

答　全ての母親が安心して育児をする上で、必要な事業だと考える。実施に向けて調査研究していきたい。

問　母親の回復や乳児の状況等を把握して適切な対応をするために、産後2週間や1か月の健診を行っている。健診料金の助成を国は新規事業として予算計上している。本市の助成の考えは。

答　県内で取り組んでいる市町村はない。県下一斉の実施を県に要望していきたい。

問　新生児聴力検査は、赤ちゃんの耳の聞こえ具合を調べる検査で、全額自己負担である。自己負担を軽減し、早期発見で適切な支援をするために、助成できないか。

答　現在、県が体制整備を検討している。県の動向を注視し、助成を実施する方向で検討したい。

どうする？旧豊南高校の跡地利用

清田　哲也

問　地元要望や佐伯准看護学院の移転先としての活用など、過去の経緯を踏まえた活用方針の検討がなされているのか。

答　豊南高校の跡地利用に関しては本年6月の広瀬知事との政策協議の中で、本市が活用していく方向で意見が一致しており、現在県と事務的な協議を行っている。現状、第一グラウンド及びテニスコートは、佐伯豊南高校野球部と佐伯鶴城高校テニス部が引き続き利用し、第二グラウンドについては大手前地区に計画していた公立保育所を、商業実践棟及び家庭科棟については佐伯准看護学院の移転を考えている。その他の施設については、議員ご指摘の地元要望が出されている周辺地区の避難場所や集会所なども含めた活用方針を検討している。

いずれにしても、公立保育所及び准看護学院の移転をはじめ、これからの佐伯のまちづくりにとって重要な案件であるので、住民や関係者の皆様に市の方針を説明の上、ご意見を伺いながら最終的な方針を固め、12月議会において報告するよう考えている。

旧豊南高校正門

旧豊南高校第２グラウンド

基金（積立金）を活用した子育て支援を！

髙司　政文

問　財政調整基金などの活用について問う。

答　平成28年度末の基金残高は約２４５億円となっている。しかし、平成28年度は普通交付税の減少により、財政調整基金を合併後初めて取り崩した。今後も財政不足が生じた際の財源として活用していきたい。

問　学校給食を私会計から公会計に移すとともに、無償化に取り組む考えはないか。

答　公会計への移行は、新たな財政・人的負担の発生等から現段階では困難である。給食費の無償化は、財政負担が生じるため困難である。

問　本市は、中学校卒業までの子ども医療費を無償化している。今後高校卒業までの医療費の無償化に取り組む考えはないか。

答　県内で高校卒業までの無償化をしている自治体はなく、助成の拡大は考えていない。

問　保育所、認定こども園、幼稚園等の保育料の無償化に取り組む考えはないか問う。

答　本市の保育料は国基準額の60％で設定しており、多子世帯への軽減等を図っている。国が幼児教育の無償化を検討しているので注視していきたい。

一般質問の様子

一般質問 ミニ知識

★ 私語・ヤジは厳禁！

★ 質問の順序はくじで決まるよ！！

★ 持ち時間は1人60分だよ！！

市民と議員の意見交換で、これからの「さいき」を創ろう！

第9回佐伯市議会「議会報告会」を開催

今回で9回目の議会報告会を下記の日程で開催します。
どの会場でも参加できますよ。都合の良い会場にご参加ください。
ぜひ、皆さんのご参加をお待ちしています。
一緒に「議会改革」と「これからの佐伯市」を語り合いましょう。

▲ **昨年（第８回）の会場の様子**
＊防災に関する質問
＊コミュニティバスについて
＊議員提案の施策も考えて

第９回 議会報告会 日程表

日時	会場	中学校区	担当班
11月6日（月曜日） 午後7時00分～8時30分	鶴岡地区公民館	佐伯城南	1班
	西上浦地区公民館	彦陽	2班
	本匠地区公民館	本匠	3班
	鶴見地区公民館 吹分館	鶴見	5班
11月7日（火曜日） 午後7時00分～8時30分	蒲江地区公民館	蒲江翔南	1班
	上浦地区公民館	東雲	2班
	青山地区公民館	佐伯南２	3班
	保健福祉総合センター和楽	鶴谷	4班
	上灘文化センター	佐伯南１	5班
11月8日（水曜日） 午後7時00分～8時30分	直川地区公民館	直川	1班
	弥生文化会館	昭和	2班
	鶴見地区公民館 田の浦分館	大島	3班
	米水津地区公民館	米水津	4班
	大入島地区公民館	大入島	5班
11月9日（木曜日） 午後6時30分～8時00分	宇目地区公民館	宇目緑豊	4班

〔班構成〕

班	班長	班員（議席順）			
１班	髙司 政文	御手洗秀光	冨松 万平	濵野 芳弘	飛髙彌一郎
２班	塩月 健治	菅 さとみ	大野 達也	本田 房代	吉良 栄三
３班	清田 哲也	佐藤　元	西條 隆洋	井上 清三	清家 好文
４班	河野　豊	浅利美知子	矢野 幸正	坪根 大吉	
５班	後藤 勇人	上田　徹	森 三千年	福嶋 勝彦	

・佐伯南中学校区（上堅田・灘・木立・下堅田・青山）は２会場で開催します。
・班編成及び開催場所は、抽選により決定しています。
・議長は、特定の班に所属せず、各日ともいずれかの会場に参加します。

▲ **昨年（第８回）の会場の様子**
＊振興局の在り方について
＊今後も報告会を続けて

第70回 大分県民体育大会

第70回大分県民体育大会が、開催されました。佐伯市議会選手団は陸上競技、議員ソフトボールの2競技に出場し、選手、応援議員と共に一致団結した2日間でした。

ソフトボール ベスト8！

別府市野口原ソフトボール場で9月9日議員ソフトボールが開催され2回戦で敗退しました。

1試合目　佐伯市 7 － 5 速見郡
2試合目　佐伯市 2 －15 大分市

御手洗秀光監督は「濵野投手は2試合連続投球、60代の体を押してがんばりました。さすが!!」と語っていました。

400Mリレー 堂々の2位！

9月10日、大分銀行ドームで陸上競技が開催されました。

400Mリレー（58秒63）

第1走　冨松 万平
第2走　清田 哲也
第3走　大野 達也
第4走　西條 隆洋

100M

6位　髙司政文（15秒47）

塩月健治監督は「満身創痍の体を押してよくぞ頑張ってくれた」と語っていました。

100M 髙司選手

西條選手

冨松選手

大野選手

清田選手

政策研究会の活動報告

今年度末に提言書を提出へ!!

本年度は、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」を活用した地域振興策を研究しております。8月には宇目各地の現状を、10月には先行登録エリアの山梨県南アルプス市、長野県山ノ内町への視察を実施しました。これらを参考に、年度末には提言書を提出できるよう議論を重ねてまいります。

佐伯広域森林組合

藤河内キャンプ場

山ノ内町視察

南アルプス市視察

平成29年度 大分県市議会議長会議員研修会に参加!

平成29年10月3日（火）レンブラントホテル大分で中央大学大学院教授　佐々木信夫氏を招き「地方は変われるか～議会はどう変われるか、自治体をどう変える～」とのテーマで貴重な講演に参加しました。

研修会の様子

12月定例会のお知らせ（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28 本会議（開会日）	29	30	12/1	2
3	4	5 本会議（一般質問）	6 本会議（一般質問）	7 本会議（一般質問）	8 本会議（一般質問）	9
10	11	12 建設経済 教育民生 常任委員会	13 総務 常任委員会	14 予算 特別委員会	15	16
17	18	19 本会議（閉会日）	20 広報 委員会	21 政策 研究会	22	23
24／31	25	26	27 広報 委員会	28 仕事納め	29	30

本会議及び委員会審査の模様はインターネットで録画映像を配信しています。佐伯市議会のホームページからご覧ください。

編集後記

市役所にいるとき、窓から城山を眺める。木立からの帰り道、茶屋ヶ鼻の橋を渡るとき、そして佐伯大橋を渡るとき、また城山を眺める。

佐伯のど真ん中の城山。高度経済成長の時代、東京ではそのど真ん中にある東京タワーを見上げては豊かさを感じていたという。初代佐伯藩主の毛利高政公が城山に佐伯城を築城して400年。当時、城下町が造られる中でかつての人々も豊かさを感じていたのではと思い巡らせます。

今年の4月6日、佐伯城は続日本百名城に選定されました。市外からの注目も高まりつつあり、高政公からの400年越しの置き土産となりました。これには先人からの叱咤と激励が含まれていると受けとめています。温故知新、佐伯が佐伯であるための地域性を大切にし、自然豊かな風土を活かす一助になればと、深まる秋に思い改めております。

広報委員　大野　達也

発行 佐伯市議会
編集 広報委員会
印刷 木津印刷
〒876-8585 佐伯市中村南町1番1号　TEL 0972-22-4598
E-mail gikai@city.saiki.lg.jp　FAX 0972-24-0204